

WEB formosus(フォルモス) vol.35

formosusとはラテン語で「美」を意味します。古代ローマに造られた建築の美しさを表現したものです。東北の豊かで美しい自然を生かした社会資本整備には「用・強・美」が必要であり、集大成された「美」を追求していきたいとの思いで本誌のタイトルにしています。

国土交通省 東北技術事務所 電子広報誌 WEB formosus(フォルモス)発行事務局 発行2019.5.24



目次

	ページ
◇新技術展示会EE東北'19を開催します	2～4
◆～産官共同で若手技術者を育成～令和元年度「東北土木人材育成協議会」活動計画	5～6
◇～体験型土木構造物実習の紹介と平成30年度開催状況報告～	7～9
◆第8回多賀城インフラ技術交流会「業務成果発表」開催しました	10
◇UAV(ドローン)による鳴子ダム空撮を実施	11
◆アスファルト試験棟の活動について	12
◇新技術活用関連情報～NETISの紹介～	13～14
◆東北技術事務所の歴史を辿る～三ノ技～	15～17
◇東北技術事務所の取り組みについて、あとがき	18

新技術展示会 **EE東北'19** を開催します

—令和元年6月5日～6日:夢メッセみやぎ—

建設事業に係わる新材料、新工法、新材料、その他時代のニーズに対応して開発された技術を公開する「EE東北'19」を開催します。

EEには、英語のEngineering Exhibition(エンジニアリング・エキシビション)の略で、新技術を広く公開するという意味が込められており、今回が29回目の開催となります。

「EE東北'19」では、新技術や構造物の耐久性向上、維持管理費の低減など、5技術分野891技術発表展示され、国土交通省が推進する、建設現場の生産性を向上させる取組み「i-Construction(アイ・コンストラクション)」を推進する技術も展示されます。

また、今回で5回目となる「UAV(ドローン)」による競技会も、同時開催となりますので、ぜひご来場ください。

EE東北19開催スケジュール

内容	開催日時	開催場所
開会式 ・開会宣言、主催者あいさつ、 来賓祝辞、テープカット	6月5日(水) 10:00~10:20	本館屋内展示場 コンコース(受付前)
新技術展示会 ・出展者数 295社 ・出展技術数 891技術	6月5日(水) 10:00~16:30	本館 屋内展示場 屋外展示場
	6月6日(木) 9:30~16:00	
新技術プレゼンテーション ・64題	6月5日(水) 11:00~15:00	本館屋会議棟 Aホール・Bホール
	6月6日(木) 11:00~15:00	
UAV(ドローン)競技会 ・総合技術部門6チーム ・一般参加部門9チーム	6月6日(木) 9:30~16:00	西館 展示場
特設コーナー ・大学関係研究室の展示 ・学生向け出展企業紹介コーナー ・高校生が作成した橋梁模型展示 ・技術パネル展示	6月5日(水) 10:00~16:30	本館コンコース
	6月6日(木) 9:30~16:00	

EE東北19公式サイト

EE東北19の会場レイアウト、ガイドブック等は、EE東北ホームページにてご覧いただけます。

URL <http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/eetohoku/ee19/index.html>

前回EE東北18の様子

前回EE東北18では、新技術889技術(出展者数295社)が出展しました。



▲屋内展示会



▲屋外展示会



▲UAV競技会

新技術展示会 **EE東北'19** を開催します

— 令和元年6月5日～6日：夢メッセみやぎ —

ENGINEERING EXHIBITION **EE東北'19**

— 建設技術公開 —

**最新の建設技術を
大公開!!** 広げよう新技術
つなげよう未来へ

入場無料
どなたでも
ご覧いただけます



6/5 水 10:00 ~ 16:30 **6 木** 9:30 ~ 16:00

会場 夢メッセみやぎ 仙台市宮城野区港3丁目1-7 **無料シャトルバス運行**

新技術展示会

新技術
プレゼンテーション

UAV(ドローン)競技会
※6/6(木)のみ

特設コーナー



継続学習制度(CPDS)認定プログラム【(一社)全国土木施工管理技術士連合会協賛】

- 大学研究室の展示
- 学生向け出展企業紹介コーナー
- 高校生橋梁模型作品発表会入賞作品展示
- 技術パネル展示

■主催/EE東北実行委員会(委員長:東北地方整備局 企画部長)

■構成団体/(一社)日本建設業連合会東北支部、(一社)日本道路建設業協会東北支部、東北建設業協会連合会、(一社)日本建設機械施工協会東北支部、(一社)東北コンクリート製品協会、(一社)全国特定法面保護協会東北支部、(一社)東北地域づくり協会、(一社)日本立派な道協会東北支部、(一社)建設電気技術協会東北支部、(一社)建設コンサルタント協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路(株)東北支社
■後援/(公社)土木学会東北支部、(一財)日本建設情報総合センター、(一財)先端建設技術センター、(一社)河北新報社、(一社)日本建設工業新聞社東北支社、(株)日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社東北支社、(株)建設新聞社、(株)日本建設新聞社仙台総局、(株)鉄鋼新聞社

★ホームページはこちら

お問い合わせ:EE東北実行委員会事務局 〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3丁目6番1号 東北技術事務所 TEL.022(365)8047

新技術展示会 **E_E東北'19** を開催します

—令和元年6月5日～6日:夢メッセみやぎ—



建設事業に係わる新材料、新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と、良質な社会資本の整備を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として開催します。

新技術展示会

5技術分野に891の建設技術が大集結。

■本館展示棟、屋外展示場 ●6/5(水)10:00～16:30 ●6/6(木)9:30～16:00

設計・施工 337技術	維持管理・予防保全 290技術	建設副産物・リサイクル 14技術
防災・安全 196技術	その他共通 54技術	
		計 891技術

新技術プレゼンテーション

新技術展示会出展技術の中から、64技術のプレゼンテーションを実施。

■本館会議棟大ホール
Aホール・Bホール(2会場で開催) ●6/5(水)・6(木)11:00～15:00

UAV(ドローン) 競技会

ドローンを使って空撮、計測技術を競います。

■西館 ●6/6(木)9:30～16:00

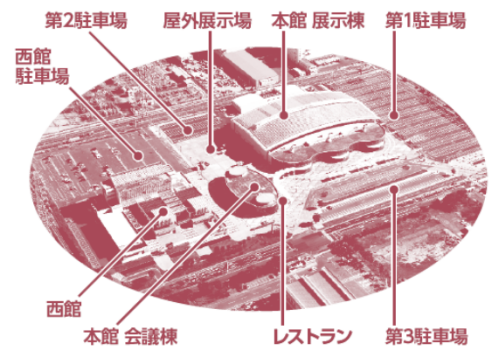
[総合技術部門]

実技と計測結果プレゼンテーションにより飛行操縦と計測技術(空撮測量)を競う部門です。

[一般参加部門]

実技により空撮技術と飛行操作技術を競う部門です。

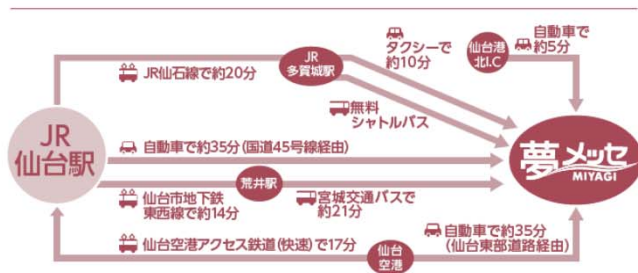
会場のご案内



会場までのアクセス方法

[JR仙石線 多賀城駅～会場間、無料シャトルバス運行]

- JR多賀城駅～会場間を8時10分から20分間隔で運行します。詳しい時刻表はホームページでご確認ください。
- 駐車場に限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関、シャトルバスをご利用ください。



交通のご案内



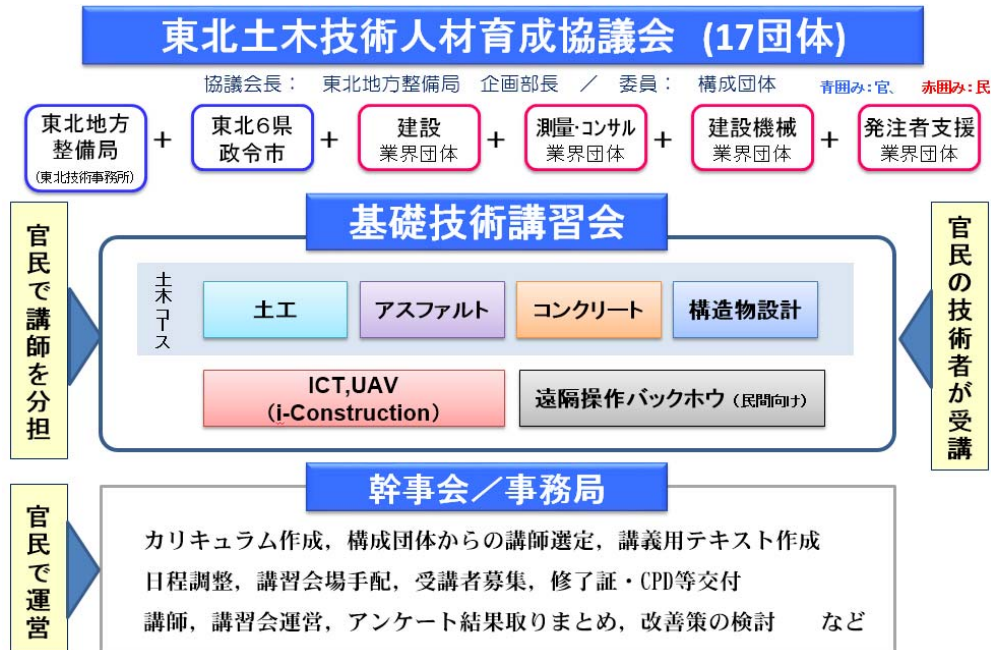
問い合わせ先：施工調査・技術活用課
電話番号 022-365-7983

～産官共同で若手技術者を育成～ 令和元年度 「東北土木人材育成協議会」活動計画

平成29年3月1日に国土交通省東北地方整備局、建設業協会(日本建設業協会東北支部、東北建設業連合会)、測量・コンサル業界(東北測量設計協会、建設コンサルタンツ協会東北支部)、建設機械業界(日本建設機械施工協会)の6団体による「東北土木人材育成協議会」を発足しました。

平成30年3月1日に、地方公共団体(東北6県、仙台市)、東北地質業協会及び日本道路建設業協会東北支部を含めて15団体に組織が拡大されました。

平成31年2月25日に発注者支援業界団体(東北建設マネジメント技術協会及び東北地域づくり協会)を含めて17団体に組織がさらに拡充されました。



設立趣旨

- ◆ 社会資本は、生活や経済活動などを行う上で重要な役割を担い、長期にわたり利用される高品質・高耐久とすることが求められる。
- ◆ 良好な社会資本の整備・維持管理のための専門分野は多岐にわたり、施工・監督・検査などには幅広い知識が必要。
- ◆ さらにi-Constructionをはじめとする新たな技術に関する多様な知識も求められる。
- ◆ 将来を担う若手技術者に対しては、早い段階で知識と技術力の養成に資する講習を行う必要がある。
- ◆ 各団体が協力・連携をすることで、より総合的な知識と技術力の教授が可能となる。

平成30年度開催状況

◆884名の皆さんが受講されました。



土工技術講習会



コンクリート技術講習会



構造物設計技術講習会



アスファルト技術講習会



ICT・UAV技術講習会



遠隔操作
バックホウ講習会

講習会名	受講者数		
	計	官	民
土工技術講習会	87名	51名	36名
アスファルト技術講習会	73名	55名	18名
コンクリート技術講習会	92名	57名	35名
構造物設計講習会	88名	59名	29名
ICT・UAV技術講習会	520名	229名	291名
遠隔操作バックホウ講習会	24名	0名	24名
合計	884名	451名	433名

令和元年度も産官連携して、各種技術講習会を開催します。

◆平成30年度の基礎技術講習会を継承し、年3回開催します。

◆ICT・UAV技術講習会を各県及び仙台市で開催します。

講習会名	開催日			開催場所
	第1回	第2回	第3回	
土工技術講習会	7月1日・2日	9月9日・10日	11月25日・26日	東北技術事務所
アスファルト技術講習会	7月2日・3日	9月10日・11日	11月26日・27日	東北技術事務所
コンクリート技術講習会	7月3日・4日	9月11日・12日	11月27日・28日	東北技術事務所
構造物設計講習会	7月4日・5日	9月12日・13日	11月28日・29日	東北技術事務所
ICT・UAV技術講習会	青森県:座学 8月 8日 岩手県:座学 9月18日 宮城県:座学 9月 4日 秋田県:座学 8月22日 山形県:座学 9月 3日 福島県:座学10月16日 仙台市:座学 9月26日	現地実習(調整中) 現地実習 9月19日 現地実習 9月 5日 現地実習 8月23日 現地実習 9月 4日 現地実習10月17日 現地実習 9月27日		各県・仙台市会場
遠隔操作バックホウ講習会	10月(調整中)			東北技術事務所

問い合わせ先：総括技術情報管理官
TEL 022-365-8211 (代)

実物大の臨場感で

“見て、触れて、考える”

～体験型土木構造物実習の紹介と平成30年度開催状況報告～

工事監督・検査に対応する技術の習得や施工順序、品質の良否判定等の基礎技術や判断技術を習得することを目的とした、実践的な施設で、実物大の構造物を使用した実習施設としては東北唯一のものです。

～施工順序、名称・種類、施工上の留意点を学ぶ～



なぜこうなるのか?防止方法は?品質にどう影響があるのか?



利用者の声

・実際の構造物を見ながら品質不良を指摘し、施工不良に話を広げるスタイルが非常に覚えやすく、且つ、分かりやすかった。

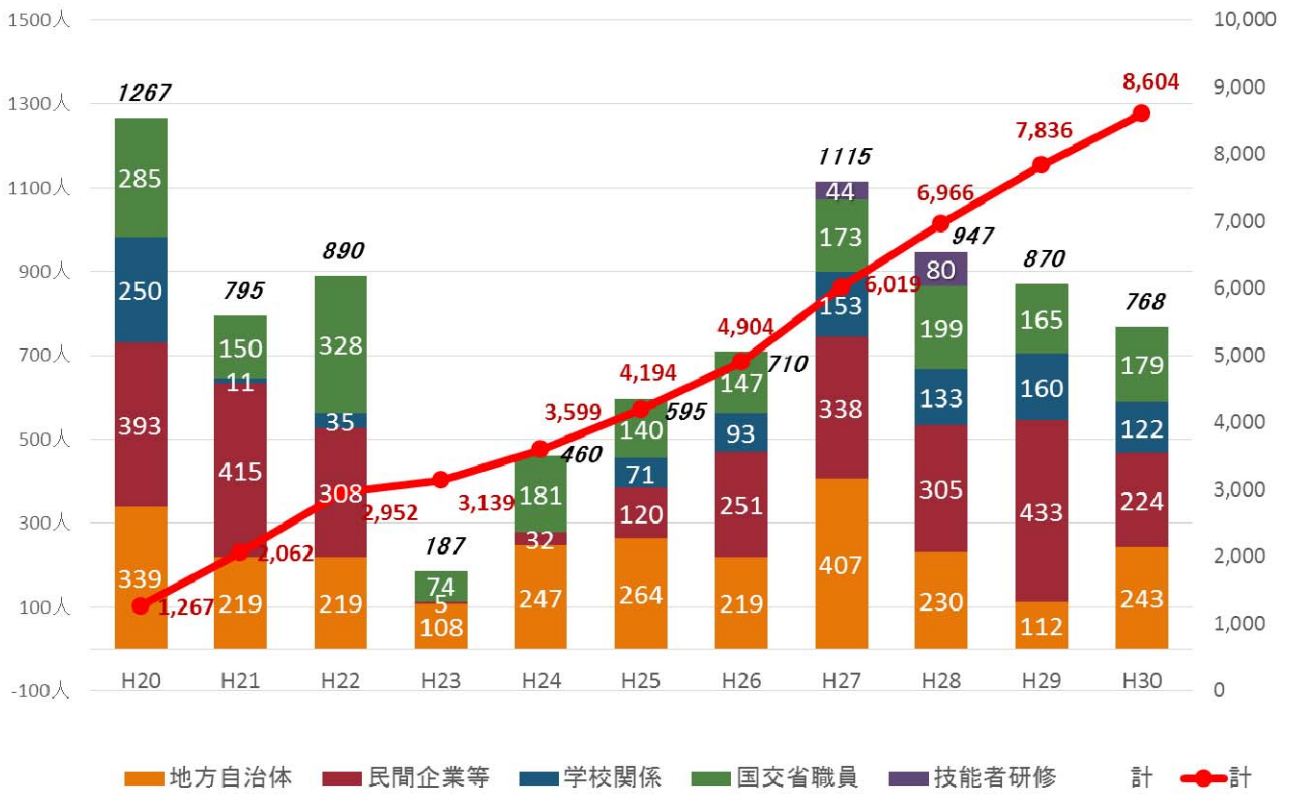
(農林系公務員)

・私は土木について学校で学んでこなかった身でしたので、会社に入ってから座学で学んだ例を実際に見ることができ、理解が深まりました。

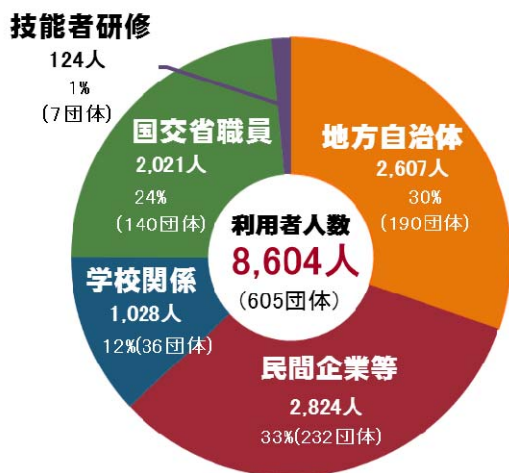
(電力系企業)

延べ利用者 8,600人 到達！

体験型土木構造物実習施設利用者の推移



H20～H30 利用者内訳



H30 利用者実績



誰でも利用できます。是非ご利用ください！
 工事現場(作業所)単位でもご利用いただけます

利用申込書は、東北技術事務所のホームページからダウンロードしてください。

申込み日：令和 年 月 日

東北技術事務所
体験型土木構造物実習施設利用申込書

団体名	
代表者	氏名：
	住所：
利用目的	
希望コース	※希望する基本コース・追加オプション <input type="checkbox"/> を <input checked="" type="checkbox"/> に塗りつぶし(入力)してください。 右端に記載の時間は、講師説明の標準的な所要時間であり、相談により調整は可能です。
	<input type="checkbox"/> 基本コース <input type="checkbox"/> コンクリート〔Ⅰ〕：施工管理(不適切施工) 1時間程度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート〔Ⅱ〕：非破壊検査 1時間程度 <input type="checkbox"/> オプション <input type="checkbox"/> コンクリート〔Ⅲ〕：表層品質と耐久性 30分程度 <input type="checkbox"/> 橋梁上部工：鋼橋・PC橋(被災・損傷) 30分程度 <input type="checkbox"/> 橋梁下部工：配筋・補修・補強 15分程度
希望日時	※希望日は「水曜日」とし、時間帯の欄には午前(9:00～12:00)、午後(13:30～16:00)の範囲内で希望される時間を記入ください。
	令和 年 月 日(水) 時間帯： ～
(予備日) ※記入は任意	平成 年 月 日(水) 時間帯： ～
参加予定人数	名(うち随行者 名)
講師説明の要否	※該当する <input type="checkbox"/> を <input checked="" type="checkbox"/> に塗りつぶし(入力)してください。 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
参加者の技術レベル等	※参加者の土木技術に関する「経験年数」や、施設利用の目的・理由などを記入ください。「講師説明」を不要とする場合は記入不要です。
申込み者連絡先 (随行者)	氏名：
	メールアドレス：
	携帯電話：

体験型土木構造物実習施設のコース概要

コース名		体験実習内容
基本コース	コンクリート〔Ⅰ〕 1時間程度	【施工管理(不具合施工)】 コンクリート構造物の不適切な施工による、材料分離・豆板・コールドジョイント等の不具合事例について、発生原因や防止方法などを学習。
	コンクリート〔Ⅱ〕 1時間程度	【非破壊検査】 コンクリートの品質等の確認のための非破壊検査の方法や使用上の注意点を学習。 ・テストハンマーによるコンクリート強度の推定 ・鉄筋探査器によるコンクリート内部の鉄筋間隔等計測
オプション	コンクリート〔Ⅲ〕 30分程度	【表層品質と耐久性】 コンクリート構造物の施工の丁寧・不適切な違いによる表層品質や耐久性への影響を学習。 (透気試験・吸水速度試験・凍結融解試験等)
	橋梁上部工 (30分程度)	【鋼橋・PC橋】 東日本震災による被災橋梁及び塩害等で使用不能となった橋梁の上部工モデル(実物)により、構造形式・被災状況・劣化損傷状況を学習。 ・鋼橋：鋼箱桁、RC床版 ・PC橋：ポステンT桁、プレテン中空床版桁
	橋梁上部工 (15分程度)	【配筋・補修・補強】 橋梁下部工・杭基礎(杭頭)のモデルにより、鉄筋組立状況や補修・補強工法の概要を学習。

利用希望日の2週間までに申請してください。

申込書は下記まで送信してください。

Eメールアドレス thr-tougi02@milit.go.jp

ファックス番号 022-365-7969

問い合わせ先：技術情報管理官
TEL 022-365-7971

多賀城市内4機関による

第8回多賀城インフラ技術交流会

「業務成果発表」「特別講演」「事業概要」開催しました

多賀城市内に本拠地を置く、4機関(東北学院大学工学部、多賀城市建設部、塩釜港湾・空港整備事務所、東北技術事務所)の技術系職員等の技術力向上を目的に「多賀城インフラ技術交流会」を平成24年から開催しています。

第8回のインフラ技術交流会は、平成31年3月13日に東北学院大学「多賀城キャンパス」で開催され、68名が参加して行われました。

当日は、参加機関の5名の皆さんから業務成果発表及び東北学院大学の特別講演並びに、宮城県内の3事務所から事業概要の説明があり、参加者相互の情報交換や技術交流が活発に行われました。

業務成果発表状況



業務成果発表状況



意見交換をする聴講者



事務所事業概要



特別講演状況



聴講者



◆業務成果

○コンクリート打設における締固め時間の影響について

東北技術事務所 維持管理技術課 鈴木 恵子

○橋梁上部工の送出し架設工法について(都市計画道路清水沢多賀城線(かのえだ大橋))

多賀城市建設部 復興建設課 雨宮 裕樹

○供用中のコンテナバース(仙台港区向洋地区岸壁-14m)の改良

塩釜港湾・空港整備事務所 第一工務課 齋藤 青夏

○平成30年の災害対応について

東北技術事務所 防災・技術課 中野 真司

○多賀城市の下水道事業～復興への道と新たな課題～

多賀城市建設部 下水道課 丸山 隆

◆特別講演

○空気量を6%超としたコンクリートのクリープ特性 他

東北学院大学工学部教授 石川 雅美

○樋門に発生したひび割れの補修方法に関する基礎研究

東北学院大学工学部教授 武田 三弘

◆事業概要

○仙台河川国道事務所

仙台河川国道事務所長 奥田 秀樹

○北上川下流河川事務所

北上川下流河川事務所長 高橋 政則

○塩釜港湾・空港整備事務所

塩釜港湾・空港整備事務所長 谷川 晴一

UAV(ドローン)による鳴子ダム空撮を実施

東北技術事務所では、鳴子ダム管理所の要請により、鳴子ダムの管理施設やダム湖～貯砂ダム、ダム周辺の状態をUAVで空撮し映像を提供しました。

日時 : 平成31年4月23日(火)
場所 : 鳴子ダム管理施設・ダム湖(貯砂ダム含む)・ダム周辺

【空撮範囲・操作状況】

今回の空撮で撮影したエリアです。今回の空撮ではUAVの操縦場所が複数箇所必要でしたが、操縦場所からの見通しが良ければ一回の飛行で広範囲を撮影可能です。



調査飛行範囲



UAV操縦の様子

(操縦者はカメラの撮影画面・1名は機体や周辺状況を確認)

【UAVからの撮影写真】

UAVからの撮影は高画質の4K動画や写真で撮影可能です。

- ・写真左 : ダム管理所と背後地の状況
- ・写真右 : 鳴子ダム上流にある貯砂ダムの状況(貯砂ダムの撮影は今回が初)



ダム管理所と周辺



貯砂ダムと周辺

アスファルト試験棟の活動について

東北技術事務所では、前ページでご紹介した基礎技術講習会や各種研修等で、技術支援と人材育成支援の観点から、アスファルト試験やコンクリート試験の実習を行っております。そこで、今回は試験を行っているアスファルト試験棟(以下:試験室)について、さらに詳しくご紹介いたします。

1. 品質確保のための技術支援

東北管内の直轄工事において使用する土木材料や構造物の品質に関する課題に対応するため、下記の取り組みを行っております。

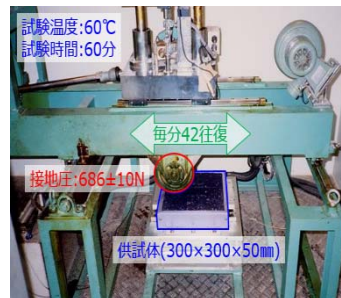
- ①工事材料の品質確認に関する検証
(誤った品質のコンクリートを未然に防止するため、
コンクリート打設現場での受入検査の実施)
- ②東北地方整備局管内のアスファルト舗装用材料の確認
試験、コンクリートに関する試験等の実施
(引張・圧縮試験器・ホイールトラッキング試験機など約20種類の試験機器を保有)



現在の
アスファルト試験棟



【コンクリート受入検査】



【ホイールトラッキング試験】 【たわみ一次共鳴振動数測定】



2. 人材育成支援

研修において監督検査技術の習得や若手職員の技術力向上を目指し、下記の取り組みを行っております。

- ①職員研修
新規採用職員研修や、受講者のレベルに応じた各種研修を行っております
- ②体験型実習(実際の失敗構造物からなぜこうなったかを学ぶ実習)
各種研修や一般申込をいただいた方々のご要望に応じて、内容・時間を調整し
対応しております。
- ③基礎技術講習会
民間・自治体・国合同で若手技術者の基礎的内容を指導



鉄筋探査



体験型実習



コンクリート実習



アスファルト実習




新技術活用関連情報 ～NETISの紹介～



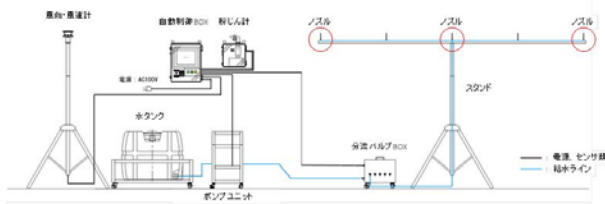
1. 東北で登録されたNETIS登録技術

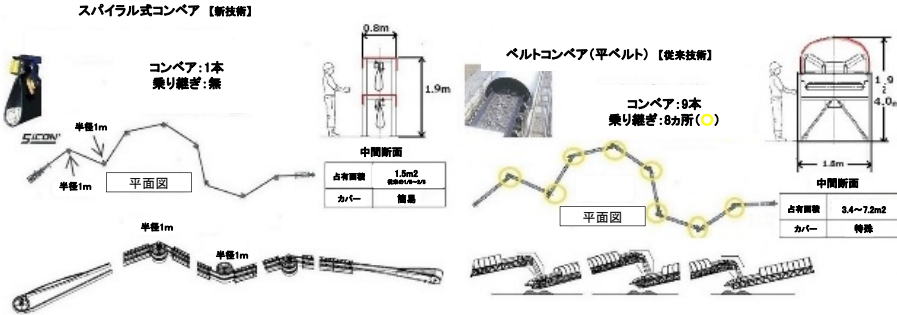
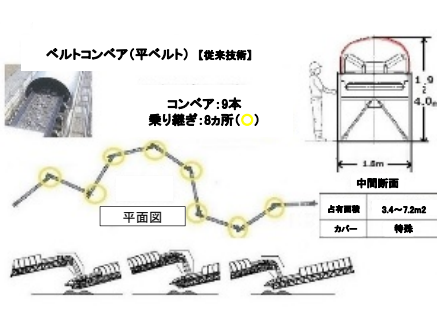
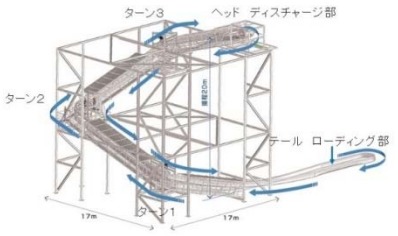
新技術情報提供システム＝NETIS (New Technology Information System) は有用な新技術の公共事業への活用を促進することを目的として、平成18年より本格運用を開始し、平成31年4月20日現在2,881技術が登録されております。

番号をクリックすると公式サイトで技術の詳細情報が確認できます
↓

今回は、4月に東北技術事務所で登録を行った5技術について紹介します。

①	S・RXリーダーレス工法	登録番号	TH-190001-A
開発会社名		日立建機株式会社、株式会社鳴原基礎	
<p>本技術は、油圧式リーダーレス型基礎機械で施工するダウンザホールハンマ工で、小型移動式クレーンを新たに装備したことにより材料の吊り上げを可能にして、掘削・建込みの一連の作業が1台で出来るようにした。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>フロント制御システム用 操作レバー (写真-1)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>フロント制御システム軌跡 (図-1)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>フロント高さ 制御リミット装備 (図-2)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>斜航(最大30°)施工可能 (図-3)</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>オーガ掘削状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>掘削建込状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>建込状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>作業性能表示モニター</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">機械性能および作業状況</p>			

②	散水カーテンによる自動粉じん対策「粉じん見張り番」	登録番号	TH-190002-A
開発会社名		東亜建設工業株式会社、株式会社テクノコア	
<p>本技術は、現地で発生する粉じんの拡散状況を計測器(風向・風速計、粉じん計)にて情報収集し、設定した風向・風速や粉じん濃度に応じて自動的に散水することにより、粉じんの拡散を抑制するものである。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>計測器・自動制御BOX等</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ノズル付散水スタンド</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>粉じん見張り番 (新技術)</p> <p>①準備工 ②機器設置・試運転 ③機器運転(施工中) ④撤去工</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>防じんネット (従来技術)</p> <p>準備工 支柱設置 ネット設置 撤去工</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>粉じん見張り番の機器構成図</p> </div>			

③	スパイラル式コンベヤ	登録番号	TH-190003-A
開発会社名		古河産機システムズ株式会社	
<p>本技術は袋状にした密閉・吊り下げ構造のベルトで搬送物を安全かつ低騒音に搬送する技術である。本技術により、落鉱(落石)・発塵・臭気・騒音の抑制が図られ、また搬送ラインを自在に屈曲させて延長することができ、乗り継ぎなく1本のベルトで連続搬送が可能となる。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>スパイラル式コンベヤ【新技術】</p>  <p>コンベヤ: 1本 乗り継ぎ: 無</p> <p>ベルトコンベヤ(平ベルト)【従来技術】</p>  <p>コンベヤ: 8本 乗り継ぎ: 8ヵ所(O)</p> </div> <div style="width: 35%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 本技術と従来技術の比較 実証機 </div>			

④	パッチシールクロスによる漏水対策工法	登録番号	TH-190004-A
開発会社名		信越科学工業株式会社	
<p>本技術は、ボックスカルバート内側目地からの漏水対策に使用されている樋設置工法の代替として使用される技術である。本工程により、従来の課題であった施工部と通行車輛上部の接触による樋の破損が低減出来る上、シートを貼付するだけの工法の為、大幅な工期短縮に繋がる。</p>			

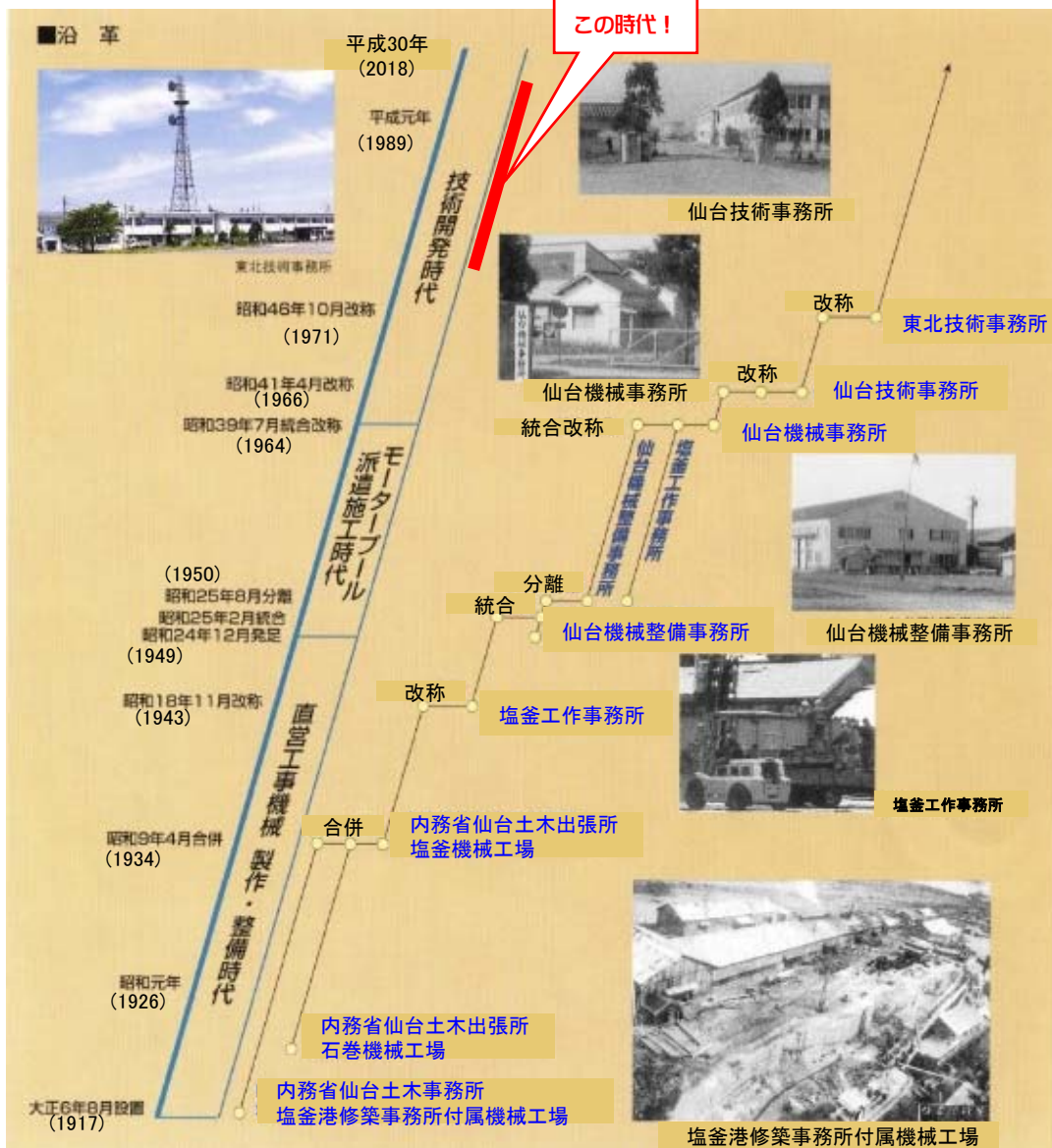
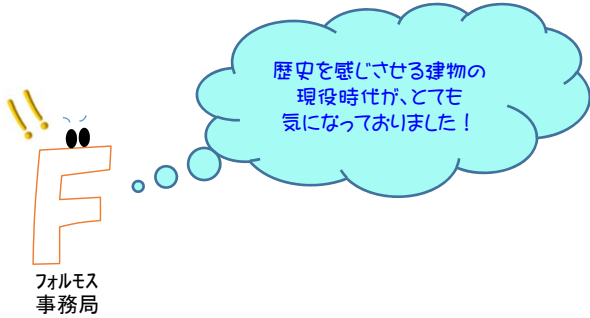
⑤	大光量LEDバルーン照明機	登録番号	TH-190005-A
開発会社名		和光機械工業株式会社	
<p>本技術は、夜間工事やトンネル工事の照明で、より明るい高効率なLEDと、回路抵抗を低減した高効率回路を採用した大光量LEDバルーン照明機。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>WL301シリーズ製品ラインナップ</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>LEDバルーン照明機工事使用状況</p> </div> </div>			

シリーズ 第3回目

東北技術事務所の歴史を辿る^{たど}

～ 三ノ技 ～

東北技術事務所には、前のページでもご紹介コーナーがありましたアスファルト試験棟など様々な建物があります。アスファルト試験棟は東日本大震災で津波の影響を受け、地盤を高くし、新しい建物になりました。今後、津波の際には、避難できる場所になっております。その新しいアスファルト棟の隣には、旧アスファルト棟の姿が……。第3回目となる今回は、新旧の建物が入り交じるこの東北技術事務所の昔の姿について調べます。



空中撮影今昔 ～東北技術事務所を撮ってみた～



昭和50年 気球による撮影

気球で撮影!?

00

フルモス事務所



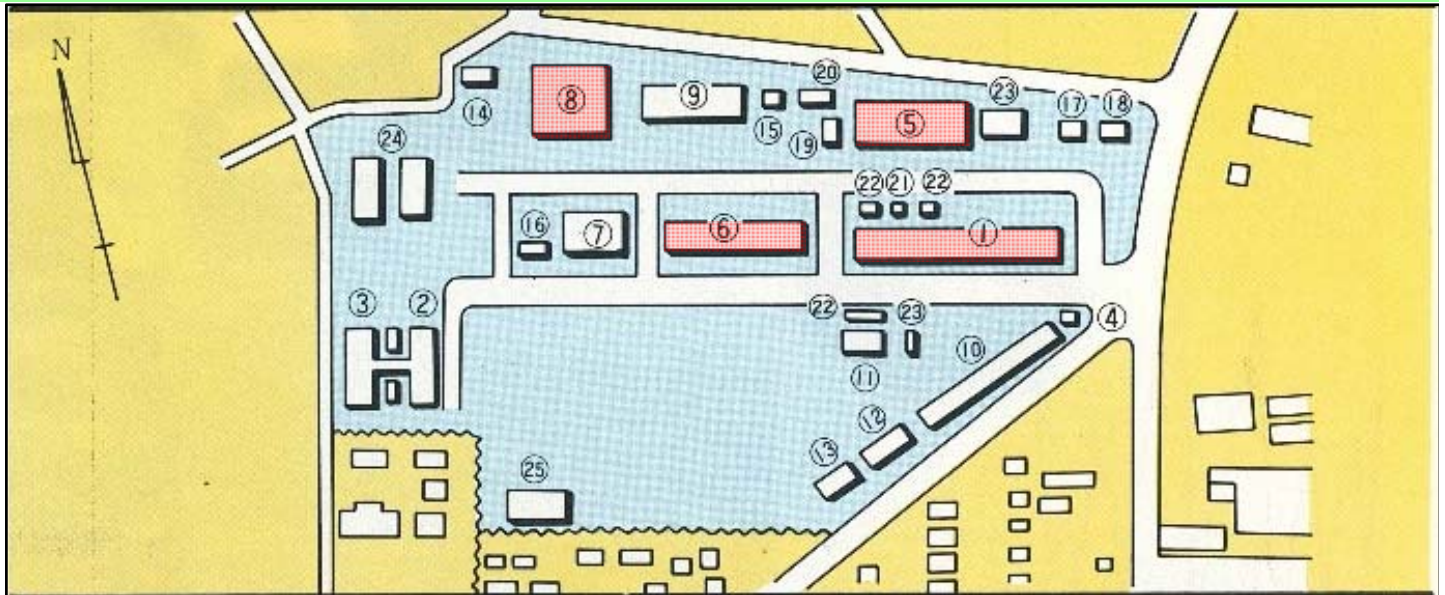
43年の時が流れ



平成30年 UAVによる撮影



昭和50年(1975年)当時の構内図



No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
①	庁 舎	⑥	第2工場(整備)	⑪	車 庫	⑯	休 憩 室	㉑	動力試験室
②	研 修 所	⑦	第3工場(仕上)	⑫	トラス橋格納庫	⑰	食 堂	㉒	倉 庫
③	研 修 所 寮	⑧	第4工場(木工鑄物)	⑬	簡易格納庫	⑱	理容室・診療所	㉓	油庫・貯槽
④	正 門(守衛所)	⑨	第5工場(製造)	⑭	廃材置場	⑲	浴 室	㉔	ゲレンデコート
⑤	第1工場(機械)	⑩	簡易格納庫(車庫)	⑮	休 憩 室	㉔	変 電 所	㉕	宿 舎

そこで、昔の東北技術事務所をよく知る“東技師匠(アスファルト部門)”にお話を伺いました。

東北技術事務所は大正6年(1917年)に『内務省仙台土木出張所塩釜港修築事務所・附属機械工場』として設置され、その後改編・改称を経て、昭和46年(1971年)に『東北技術事務所』となりました。

構内図は44年前の東北技術事務所、今も残っている建物は、赤く染めた①⑤⑥⑧の4棟しかありません。

使用目的もいろいろ変わりました。

- ①：そのまま庁舎として使用しています
- ⑤：倉庫として、東日本大震災の被災物を保管しています
- ⑥：試験棟として活用していましたが、震災被災後は新築した別棟で業務を継続しております
- ⑧：災害時に活躍する応急橋の保管庫として使用しています

12ページで現在のアスファルト試験棟の業務を紹介いたしました。次号で過去にどのようなことを行ってきたかを紹介したいと思います。



フォルモス
事務局

次号、おたのみに～！！



“東技師匠
(アスファルト部門)”

東北技術事務所の取り組みについて

★各課が取り組む業務内容

担当課	業務内容の紹介(抜粋)
維持管理技術課	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁点検・診断、路面性状調査、路面下空洞調査・土砂災害のリスク調査及び診断・判定技術力の向上及び地方自治体への技術支援 ・長寿命化修繕計画作成の技術支援 ・インフラ構造物の品質向上のための施工方法の検討 ・大学との連携における技術開発や研究への相互協力
施工調査・技術活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・新技術情報共有システム(NETIS)の受付登録、普及および活用支援 ・新技術の現場活用における効果分析・評価 ・民間企業からの新技術に関する相談 ・ICTを活用した建設機械(除雪機械)に関する技術開発 ・河川関係施設(排水機場、水門・樋門、ダム用水門等)の予防保全および設備診断に関する検討 ・EE東北の開催に関する企画・運営
品質調査課	<ul style="list-style-type: none"> ・河川堤防の健全性調査・診断、データ管理、分析 ・樋門・樋管詳細点検、健全度評価、データ管理、分析 ・河川水質調査(精度管理)、河川微量化学物質の分析・精度管理 ・大学との連携による技術開発や研究への相互協力
防災・技術課	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の初動対応の緊急・微動的な支援を遂行 ・災害時の緊急対応に備えた体制整備、要領・マニュアル等整備 ・災害対策用機械の操作訓練(職員及び協定会社等)

事務局から

天皇の代替わりに伴い10連休となったゴールデンウィークは皆さんいかが過ごされたでしょうか？
連休中は例年同様に行楽地等への移動に伴う渋滞、混雑、事故等に加えて、天皇陛下の退位、新天皇陛下の即位の関連ニュースがテレビや新聞等で連日報道されておりました。個人的には旅行するでもなく、基本的に自宅で過ごした時間が長く、連休明けの仕事への復帰は・・・。10連休に関しては賛否両論意見が分かれるところだったようです。

連休明けから例年どおりクールビズが始まりましたが、今年も年度末に暖かい日があったかと思うと、ゴールデンウィーク直前まで降雪があった地域もあり、異常気象を予感させられる天候となっております。昨年も大雨や地震による災害がありました。東北技術事務所が行っている支援のひとつである「災害対策支援」で活躍する場合は、今年は出来るだけ無いよう願っております。

東北技術事務所が関わる「技術支援」の大イベント『EE東北'19』が今年も6月5日(水)～6日(木)に「夢メッセみやぎ」を会場に開催されます。最新の建設技術891技術の展示に加え、出展新技術の中からのプレゼンテーションやUAV(ドローン)競技会も開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。

また、「人材育成支援」の産官連携で取り組んでいる「東北土木技術人材育成協議会」による基礎技術講習会も新たに2団体が加わり、第1回目が7月から開始されます。業界ならびに国、県の職員の方々の受講をお待ちしております。

8月9日(金)～10日(土)に開催される夏休みの小学生向けイベント「夏休み2019宿題☆自由研究大作戦」にも昨年まで同様に参加を予定しております。子供たちにわかりやすく、国土交通省の仕事を理解していただきながら、興味をもって楽しめるプログラムを実施する予定です。

今年度も、これまで同様に東北技術事務所が取り組む様々な業務、新技術や最新の話題等についてWEB formosusで紹介して参ります。今後ともWEB formosusをよろしくお願いたします。(T)

発行元

国土交通省 東北技術事務所 Web formosus(フォルモス)発行事務局

〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3丁目6-1 TEL022-365-8211

フォルモス事務局 品質調査課

FAX 022-365-7899

E-mail : thr-tougi02@mlit.go.jp

事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/index.html>